

宇宙物理学の研究推進

弘前大学 新年度 理工学研究科にセンター

弘前大学は新年度から、理工学研究科に「宇宙物理学研究センター」を設置する。同研究科はかねてから宇宙物理学分野の研究が盛んで、重力波やブラックホールなどに関する成果を多く挙げており、一層の研究推進と、主に高校生を対象に宇宙や科学への興味を持つてもらおう取り組みを進める。

同大が2日、公表した。特徴ある研究について、その強みや特長を強化するため設置する「特定プロジェクト教育研究センター」の一つ。学内には現在、五つのセンターがあるという。

宇宙物理学研究センターは、理工、教育両学部の特任教員6人がメンバーとなり、研究交流や情報交換を行う。行って最先端の研究を推進。学術論文や国際会議などを通じて研究成果を積極的に公表していくほか、講演会を開催し高校生ら若い世代への働き掛けを行う。

センター長は、理工学部数物科学科の浅田秀樹教授が務め、同学部地球環境防災学科の葛西真寿教授、教育学部理科教育講座の佐藤松夫教授らが構成員となる。

(西尾瑛)

※この画像は当該ページに限って
陸奥新報社が利用を許諾したものです。
[問合せ先]弘前大学理工学研究科
E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp